

- ⑦ 釧路管内市町村による「自然の番人宣言」の推進
- ⑧ 「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進
- ⑨ 岬の森東山公園の再整備の推進
- ⑩ 公園施設長寿命化計画の推進



第12回釧路管内「自然の番人宣言」ポスターコンクールで表彰された児童生徒たち。

3 健康で思いやりのある社会づくり

新型コロナウイルス感染症に対しては、町民皆さまの安全・安心を確保し、生活への影響を最小限とするため、今日まで感染予防対策を速やかに講じてきました。

政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げの方針を決定しました。今後は、これまでの感染対策の緩和や医療費支援が段階的に縮小される方向となっていることから、国の動向を注視し、その対応に努めていきます。

健康づくりについては「すこやか白糠21」に基づき、各種保健事業を通して健康寿命の延伸を図るとともに生活の質を向上させるための一次予防を推進していきます。成人保健については各種健診のほか、レントゲン検査と比較してより小さく、より早い時期の肺がんを発見できる「肺CT検査」を新たに実施します。

また、加齢や疲労、ストレスなどによって免疫力が低下し、発症する人が増加している帯状疱疹については、50歳以上の方を対象としたワクチン接種費用の助成制度を創設し、その費用負担の軽減と発症および重症化の予防を図っていきます。

母子保健については、全妊婦を対象とした初回産科受診料の支援を新たに実施し、安心して子どもを産み育てることができるよう環境を整えるとともに、妊娠から出産、

- 望するすべての子どもが認定こども園に入園できるよう体制を整備し、保護者が安心した子育てと就業しやすい環境づくりを図り、ゼロ歳から5歳までの一貫した幼児教育を推進していきます。
- また、幼児教育をサポートする支援員を1人増員し、幼児期における「平仮名の読み」や「数と計算」などのさらなる定着を図り、義務教育との円滑な接続への取り組みを進めていきます。
- 介護保険事業については「第8期白糠町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく事業の推進と介護給付費の適正な給付に努めるとともに、令和6年度を初年度とする第9期計画の策定作業を進めていきます。
- また、認知症の方々を地域で支えていくことができるよう、認知症サポーターの養成やスキルの向上など、地域での見守り体制の充実を図っていきます。
- ① 健康づくりおよび生活習慣病予防対策の推進
- ② 母子保健事業の推進
- ③ 食育の推進
- ④ メンタルヘルスケアの推進
- ⑤ 国民健康保険事業の健全運営

4 希望あふれる社会づくり

- ⑥ ウレシパチセを核としたアイヌ施策の推進
- ⑦ アイヌコタン再生整備事業の推進
- ⑧ アイヌ民族をテーマにした映画制作への協力・支援
- ⑨ 生き生きしらぬか外出支援・健康入浴・ふれあい交流・日帰り温泉・活動応援ポイント事業の推進
- ⑩ 障がい福祉計画・障がい児福祉計画の策定
- ⑪ 障がい福祉サービスの推進
- ⑫ 総合的施策「『太陽の手』子育て支援」の推進
- ⑬ 子ども・子育て支援事業計画の推進
- ⑭ 結婚支援事業の推進
- ⑮ 幼児教育の充実
- ⑯ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定
- ⑰ 介護サービスの推進
- ⑱ 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- ⑲ 認知症対策の推進
- ⑳ 成年後見制度の推進



昨年4月、牛乳消費拡大PR活動事業として、お笑い芸人の小島よしおさんを招いた特別講座を実施。

5 活気に満ちた産業づくり

農業について、酪農業は牛乳乳製品の需要が低迷する中、燃油・飼料の高騰により、生産者自らによる計画生産や経費の圧縮などの自助努力の限界を超えており、

本町は「ふるさと教育」を教育行政の基軸としています。総合教育会議における情報の共有化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めていきます。

また、難聴児への補聴器等購入費用の助成事業を創設し、早期の療育を支援していきます。

障がい者福祉については、令和6年度から3年間の「第7期白糠町障がい福祉計画」を策定し、障がい福祉サービスの円滑な提供体制を確保していきます。

高年齢福祉については、交流機会の確保と福祉の増進に努めるとともに、健康で生きがいをもって暮らしていけるよう、社会参加の促進と健康づくりを目的とした「生き生きしらぬか事業」の取り組みを推進していきます。



旧ウレシパチセを「アイヌコタンを再現した展示施設」として改修します。

また、新生児に対して防災用品を配布することで、子どもの成長に合わせた防災対策を各家庭で考える機会を提供し、乳幼児のいる家庭の防災対策を進めていきます。

少子化対策については、新婚世帯に対する新生活への支援を行い、若い世代が希望する結婚がかなえられる環境を整備します。

幼児教育・保育については、教育と保育を区分することなく一体的に育まれる幼児教育として、希

今まさに営農計画が立てられない危機的な状況です。町としても釧路丹頂農業協同組合と連携を図りながら、本町における酪農業の衰退を何としても防ぐため、その対応にスピード感をもって取り組んでいきます。

また、鳥獣による食害が深刻化しているデントコーン畑等への防除対策をはじめ、畜産・野菜生産においてもチャレンジしやすい環境づくりを進めるとともに、本町の気候や地形の特色を生かした果樹栽培の実証試験を行います。

担い手対策としては、農業研修を受けた方が新規就農されるなど、少しずつですが確かな実を結んでいることから、引き続き、研修中の地域活性化支援員が新規就農を果たすために必要な基盤整備を進めるとともに、新たな人材の確保に向け、新規就農フェアへの出展など、積極的な取り組みを進めていきます。

林業については、森林が持つ土砂災害の防止や水源涵養、二酸化炭素吸収などの多面的機能を持続的に発揮させるため、森林環境の保全や林業専用道などの路網整備による未整備森林の適切な更新を